

## 平面図形② (解答と解説)

1 **解答** (1)  $EF \perp AB, EF \perp CD$  (2) 1.5 cm

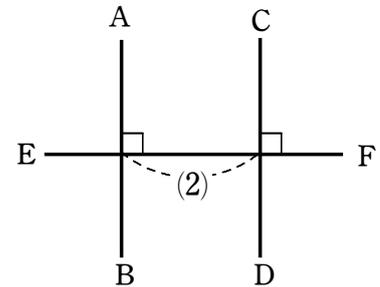
(1) 直線  $EF$  は、直線  $AB, CD$  と垂直である。

よって  $EF \perp AB, EF \perp CD$

(2)  $AB \parallel CD$  であるから、右の図の (2) の長さを測ればよい。

よって 1.5 cm

**注意** 右の図は、用紙が B5 版の場合である。



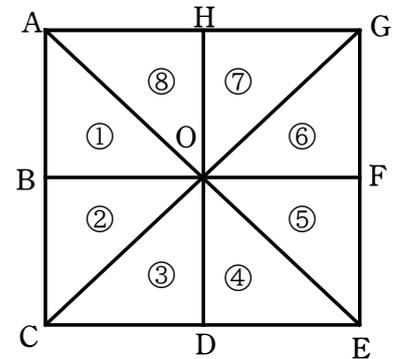
2 **解答** (1) ④ (2) ①, ⑤, ⑦ (3) ②, ④, ⑥, ⑧

(1) ① を平行移動して重なる三角形は ④

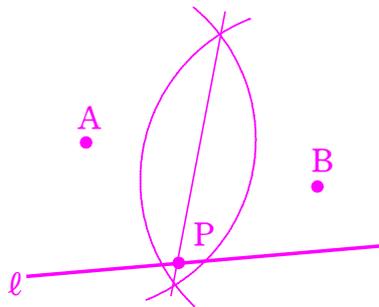
(2) ③ を時計の針の回転と同じ向きに  $90^\circ, 180^\circ, 270^\circ$  回転移動して重なる三角形は、それぞれ ①, ⑦, ⑤

(3) 右の図のように各点をとる。

⑤ を直線  $HD, AE, BF, GC$  を対称の軸として、対称移動して重なる三角形は、それぞれ ②, ④, ⑥, ⑧



3 **解答** [図]



線分  $AB$  の垂直二等分線上の点は、2 点  $A, B$  から等しい距離にある。

① 点  $A$  を中心とする適当な半径の円をかく。

② 点  $B$  を中心として、① と同じ半径の円をかき、2 つの円の交点を  $C, D$  とする。

③ 直線  $CD$  をひく。

このとき、直線  $l$  と直線  $CD$  の交点が  $P$  である。

